

## 令和2年度 第3回浦安市いじめ対策調査委員会 会議録

### 1 開催日時

令和3年2月9日(火)書面開催

### 2 出席者

(委員)

川義郎委員長、黒川雅子副委員長、稲見憲子委員、金子雅文委員、志摩一美委員  
(教育委員会職員)

鈴木忠吉教育長、白石嘉雄教育総務部部長、大友隆司教育総務部参事、  
醍醐恵二教育総務部次長、大和利光学務課課長、丸山恵美子指導課課長、  
山本典子教育研究センター所長

(事務局)

村上陽子副主任幹、鈴木俊之主任主事、新井裕子主任主事、林健太郎主任主事

### 3 議題

(1) 第2回いじめ対策調査委員会会議録(案)について

(2) 浦安市いじめ防止基本方針における「点検評価」について

### 4 書面開催の概要

浦安市いじめ対策調査委員に対し、令和3年2月8日付け浦教指第1994号「令和2年度第3回浦安市いじめ対策調査委員会の開催について(依頼)」を送付した。議題について、意見書の提出を求め、提出期限を2月16日とした。

### 5 会議結果

上記の議題について、すべての委員から意見書の提出があった。

(主な意見等)

議題(1) 第2回いじめ対策調査委員会会議録(案)について

- ・7会議経過に「【所長】・・・その原因として、・・・」と記載があるが、「その」が何を指しているかが分かりにくい。具体的に記載するのが良い。

議題(2) 浦安市いじめ防止基本方針における「点検評価」について

P1(2)【具体的な取組】ア. 予防・早期発見(ア) 心の教育の充実推進

- ・成果についての記載が課題に書かれている内容と整合が取れないため、「心情を高めている。」を「心情を高める取組をしている。」と記載した方が良い。
- ・今後の方向性について、「いじめに関する内容」では具体的にイメージができないのではないか。
- ・「誰もが安心して生活できる居場所づくり」において、児童生徒のみならず、教職員や保護者(PTA会員すべて)が対象と考えることが必要である。

P1(2)【具体的な取組】ア. 予防・早期発見(イ) 児童生徒の活動の推奨

- ・今後の方向性について、「児童が主体となった取組」では伝わりづらいため、表記を工夫したほうが良い。
- ・「取組後の生徒の変容まで把握している学校が少ない。」とあるが、生徒の変わり方を各校の主観で問うのではなく、学校の負担が増えない方法で改善する方法を検討しておくとい。

P 2 (2) 【具体的な取組】 ア. 予防・早期発見 (ウ) 特別な教育的ニーズのある児童生徒への支援

- ・成果や課題について、「コロナ禍」の記載が多いため、初めに「コロナ禍で以下のように工夫をして研修を行った。」とまとめた方が良い。
- ・幼稚園職員に、より深い発達障害への理解と該当園児への適切な保育が学べる研修を望む。

P 3 (2) 【具体的な取組】 ア. 予防・早期発見 (エ) 人材の確保及び資質の向上

- ・成果に「いじめの認知について説明するとともに」とあるが、その意図が伝わるような記載が良い。
- ・いじめは犯罪であるという視点をすべての人に伝えてほしい。

P 4 (2) 【具体的な取組】 ア. 予防・早期発見 (カ) いじめ相談窓口の周知徹底

- ・課題に「メール相談の利用が少なく、児童生徒の利用はない。」とあるが、なぜ利用が少ないのか実態を把握する必要がある。

P 5 (2) 【具体的な取組】 ア. 予防・早期発見 (キ) いじめの実態把握と指導・助言

- ・「・・・ケースが多く・・・」という記載について、「多い」という価値を入れず、「ある」という事実の伝達の方が良い。

問い合わせ先 教育総務部指導課 担当 鈴木俊之  
電話 047-351-1111 (内線) 19216